

江ヶ崎^こ跨線橋の開通について

江ヶ崎跨線橋は、新鶴見操車場建設に伴う地域分断解消のため、昭和4年に旧国鉄が鉄道橋を転用して架けられました。架設してから約80年、鉄道橋として供用された期間を含めると110年以上経過（プラットラス部）していたため老朽化が進み、また、幅員も5.5mと狭く危険であったことから、平成17年10月にJR東日本、国鉄清算事業本部から横浜・川崎両市に移管して架替工事を進めてきました。

この度、架替工事が概ね完了し3月28日（木）午後（時間未定、雨天順延）より車道を開通します。（歩道は既に開通済）

新しい橋は、車道を拡幅して両側に歩道を設けることで、地域の交通利便性の向上と歩行者の安全が確保されます。

開通に先立ち、当日午前10時より地元自治会の主催で開通式典が行われます。

※式典会場は江ヶ崎跨線橋の西側になります。（案内図参照）

【新しい江ヶ崎跨線橋の概要】

所在地：横浜市鶴見区江ヶ崎町から
川崎市幸区新小倉まで

橋長：77.8m

幅員：13.0～16.0m（車道3.5m×2～
3.5m×2+3.0m、歩道3.0m×2）

構造形式：3径間連続・コンクリート合成床版橋

事業期間：平成16年度～平成25年度
（工事着手：平成19年度）

総事業費：約36億6,000万円

（横浜市17.9億、川崎市16.7億、
JR東日本2.0億）



【旧橋の幅員】



【新橋の幅員】

旧橋写真（H18.8月頃）



新橋写真（3/15現在）



案内図



お問い合わせ先

道路局 橋梁課長 菊地 健次 Tel 045-671-2752

鶴見区 鶴見土木事務所副所長 中田 秀昭 Tel 045-510-1668